

2021/10/29

(オマケの英語教室 The meaning (purpose) of “Pre, prep. English”, the “Pre, prep”, we put.)  
書庫版



表題の意味は「前座の英語」の「前座」を冠した目的という事です。

(注：オマケの英語教室の記事を集めた弊社刊の本の題名「前座の英語」を指しております)  
昨日の take out の記事で動詞+前置詞と書きましたところ、早速のご指摘をかなりの数、  
ちょうだい致しました。

「この場合の out は前置詞じゃなくて副詞だろ」

とか

「前置詞に見えるものも置かれる位置によっては副詞になったり補語(形容詞形態)になっ  
たりするはずだろ」

とかです。

因みに副詞とは書いて字の如く「副(祖)える詞(ことば)」の事です。では何に添える  
のかと言えば「動詞」に副えてその働きを助ける詞が副詞です。

又前置詞は何の前に置く詞かと言えば「名詞」の前に置いてその働きを助ける詞です。

そのことは重々承知しておりました。

しかしそれを持ち出すと、この場が受験教室になってしまうのを恐れて敢えて「一括で」で  
「動詞+前置詞」と書かせて戴きました。

(又 1200 字以内でという SNS 側からの紙幅制限の関係も御座いました)

基いっ!!

で、その目的はと言いますと

- ① まずは、何よりも初めに興味関心を持ってもらい
- ② この程度でいいなら自分も喋れるかもしれない(喋っていいのかもしれない)

③ 一度試してみようかな

という事が目的だったからです。

それで「オマケの英語教室」の記事を集めて出版した本にわざわざ「前座」を冠して「前座の英語」としたわけです。

正しい英語教室かと言えば正しいとは言えない。

なので「正しいの？」と疑問を抱いたり、受験英語を習いたいと思ったりしている方は「本科、本編の英語教室に進んでください」しかし「その前に後学のためにちょっと立ち寄ってみては如何でしょう」という意味を込めての名付け、がその由来でした。

現に当社で運営中の英語、日本語教室である「すすき野留学」へお申し込みに来られた受験目的の日本の方や日本語検定2級取得目的の外国の方に対しては

「当教室はそういった目的では運営しておりませんので、入学されても恐らくがっかりされるだけでしょうから止めた方がいいと思います」

と敢えて最初にはっきり申し上げ、お断りさせて戴いた経緯も御座います。

又ダイレクトには申し上げませんでした

「英語をしゃべることで箔を付けよう」という目的の方へも遠回しにお断り申し上げております。

理由はあくまでも

「円滑なコミュニケーションの醸成」

が目的だからです。

なので、甚だ身勝手では御座いますが、今暫く当教室の「でたらめ」をお許し戴けると誠に嬉しい限りなので御座います。